

令和6年度第1回丹波篠山市財政持続的発展計画推進委員会 会議録（要旨）

- 日時： 令和6年8月19日（月） 13：30～15：00
- 場所： 丹波篠山市役所 本庁舎3階301会議室
- 出席者： （委員6名）委員長・副委員長・委員E・委員G・委員I
 委員O（※欠席2名：委員A・委員K）
 （副市長） 副市長
 （まちづくり部地域整備課）関係職員J・関係職員L・関係職員N
 （観光交流部商工観光課）関係職員P
 （農都創造部農都政策課）関係職員Q
 （事務局：行政経営部財政課）関係職員B・関係職員D・関係職員F
 関係職員H

■傍聴者： 記者（1名）

■会議次第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 審議事項：道の駅登録・整備事業
 - （1）審議の進め方について
 - （2）事業の必要性、優先性及び有効性が極めて高いこと
 - （3）事業を実施しても、最新の収支見通しより大きく悪化するおそれがないこと
 - （4）質疑応答・意見取りまとめ
- 4 その他
- 5 閉会

■会議要旨

1開会	
関係職員D	（開会の宣言、委嘱状交付、委員会名について報告） まずは事務局よりあいさつをする。
事務局	（あいさつ）
関係職員D	次第1開会として、丹波篠山市財政持続的発展計画推進委員会の委員長より、ご挨拶をいただく。
委員長	（委員長あいさつ）
2委嘱状交付	

令和6年度第1回丹波篠山市財政持続的発展計画推進委員会 会議録（要旨）

関係職員D	次第2、委嘱状交付に移る。 (副市長（市長代理）により各委員へ委嘱状を交付)
関係職員D	副市長よりあいさつをする。
副市長	(副市長あいさつ)
関係職員D	次第3の審議事項からは委員長に会の進行をお願いする。
3審議事項（投資的事業にかかる意見について【道の駅登録・整備事業】）	
委員長	次第3審議事項の「投資的事業にかかる意見について：道の駅登録・整備事業」の審議に入る。 (1) 審議の進め方について事務局から説明願う。
関係職員D	(資料P.1に従って、審議の進め方について説明)
委員長	(2) 事業の必要性、優先性及び有効性が極めて高いことについて、地域整備課より、(3) 事業を実施しても、最新の収支見通しよりも大きく悪化するおそれがないことについて、財政課より、それぞれ説明願う。
関係職員N	(事業の概要、事業の必要性、優先及び有効性が極めて高いことについて、資料P.2～7に基づき説明)
関係職員F	(事業を実施しても、最新の収支見通しよりも大きく悪化するおそれがないことについて、資料P.8～11に基づき説明)
委員長	(4) 説明が終わったので、質疑応答・意見取りまとめに入る。
委員E	ぬくもりの郷は傾斜地にあり、駐車場整備予定地は施設と遠のいてしまう。また、整備箇所は一方通行で狭い箇所もある。利便性についてどのように考えているのか。
関係職員N	現在、利用頻度が低い駐車場があるが、そこは多数駐車することが可能。しかし、そこへアクセスする道路が狭い。そのため新たな道路を整備する。大型車も整備する箇所での駐車を想定している。また、施設へのアクセスについては、階段の設置を想定している。温浴施設付近の駐車場へのアクセス道路は、幅員が狭いが路線バスも通行している。そのため駐車場のマス数増設整備のみとする。
委員長	大型車が幅員の狭い箇所へ入らない工夫、配慮は必要ではないか。
関係職員N	そうである。区分けなどの対策を考えていく。
委員G	将来を含め整備する箇所は、市の所有地か。
関係職員N	その通りである。
委員I	年間来場者が16万人から50万人に増える根拠は。

令和6年度第1回丹波篠山市財政持続的発展計画推進委員会 会議録（要旨）

関係職員N	国土交通省による道の駅駐車場利用状況調査を基に算出している。 ぬくもりの郷の開業日数は年間313日。国道372号線の交通量5,008台/1日。 1.5人/1台の乗車と仮定。立ち寄り率24%（国土交通省算出）。それらを利用して算出している。
委員I	道の駅にすれば、それだけ増えるということか。
関係職員N	その通りである。 入湯者も含めてである。
委員I	増えることによって、市にメリットはあるのか。 指定管理であれば、市の収入には直結しないのではないか。丹波篠山市の財政にどう貢献するのか。
関係職員N	市内の各観光施設やイベント情報の発信を行うため、市内への入り込みの拠点施設とすることができる。
委員長	市の西の窓口という意味合いだったと認識している。
関係職員P	丹波篠山市に道の駅の有無について問い合わせが多数ある。 隣接市には市内に何か所か存在している。 ぬくもりの郷は、温浴施設として検索すると出てくるが、道の駅としては出てこない。昨今、道の駅を目的に観光する人も多くいる。 日帰り入浴者1名につき、入湯税を100円徴収している。入浴者の増加により、入湯税の増加につながる。 一番は道の駅とすることで、（観光先として）選択してもらえると考える。
委員長	どのような要件が揃えば、「道の駅」となるのか。
関係職員N	登録制であり、要件がある。 登録は年2回、4月と10月に行うことができる。 ぬくもりの郷は、令和8年4月登録に向けて、進めていく。 要件1 道路の休憩機能（24時間使用可能な駐車場とトイレ） 要件2 情報発信機能（情報発信設備の設置） 要件3 地域連携機能（地域振興施設としての活用） 3つが登録の要件である。
委員O	キャンプ場など民間と協力するとあった部分について、現段階の構想など詳しく説明を求める。
関係職員N	現在、温浴施設北側の緑地部分は公園となっている。3ヘクタールほどの敷地があり、そこを市でキャンプ場に向けて整備すると4億8,800万円以上かかる。市は土地の貸付という形をとり、開発については、民間事業者の力を借り、活用できないかを検討していく。
委員長	新たな事業者を募るということか。

令和6年度第1回丹波篠山市財政持続的発展計画推進委員会 会議録（要旨）

関係職員N	その通りである。 道の駅でグランピング等を行っている所から情報を得て、進めていく。
委員長	整備後に動向を踏まえて、検討していくということか。
関係職員N	その通りである。
副委員長	整備後の運営について、現在の運営状況も含めどうなっているのか。 整備後の負担がどの程度増えるのか、指定管理者が全てやりくりしていくのか、整備後の運営や計画を含めて判断する必要があるのではないかと。初期投資をかけて良いと判断できる判断材料はあるか。
委員長	投資に見合った採算性があるのか、必要性ということによいか。
副委員長	その通りである。
委員長	想定している来場者数は施設の規模に見合うのか、など事業として成り立っているかを当審議会で議論すべきか判断が難しいが、その部分も考慮した上で判断していく必要もある。
関係職員P	令和5年度の収支は、収入合計1億9,380万円。支出合計1億8,780万円。約600万円の黒字。収入の内、温泉施設が約9,400万円、飲食売店部門が約8,000万円、食品加工部門が約500万円。入浴者が年間で一番多い時期は、ゴールデンウィーク、10月の土日、正月。1日多くて1,300人ほどになる。夜間のみ利用者や温浴施設の利用時間が決まっているため、50万人全てが利用されることはないと思われる。地域の特産品、農作物の販売、飲食の売上向上は見込まれている。
委員I	この「道の駅」にするというアイデアはどこから出たものか。
関係職員J	令和2年度に立ち上げた職員プロジェクトチームからの提案である。現施設で一番費用がかからず、有効活用できる施設であるということでぬくもりの郷が選ばれ、現在まで進めてきた。
副委員長	ぬくもりの郷から市内への流入は考えにくいのではないかと。既存の施設を使うことは財政的にメリットは大きい。しかし、城下町周辺へ集客するという、丹波篠山市の観光の考え方では今田という場所よりかは中心地に作った方が良いのではないかと。そのような議論は過去にされたのか。
関係職員P	現在、城下町に非常に集中していると認識している。城下町だけでなく、様々な場所、時期に訪れてほしいと考えているため、中心部では人が集中すると考えるため、今田が妥当と考える。
委員長	ここで欠席の委員から意見・質疑をいただいているため、紹介させていただくとともに事務局よりお答え願う。

令和6年度第1回丹波篠山市財政持続的発展計画推進委員会 会議録（要旨）

<p>関係職員N</p>	<p>【委員A 質問1】 資料P2の「後年度負担の変化」の欄に「段階的な整備を検討している」とあるけれども、すでに全体構想では、当該整備事項が示されているのかどうか。加えて、後年度の整備については、国庫補助金は活用できるのかどうか。</p> <p>【回答】 凡例でグランピングサイト、キャンプサイト、レストランの改修などを全体構想内では計画として持っている。グランピングやキャンプサイト整備では、民間企業などの活用を検討する。 後年度での国庫補助金を活用した整備も可能である。</p>
<p>関係職員N</p>	<p>【意見1】 どのような「段階的整備」が開業後の集客状況等によって判断されていくのかを、現時点の情報でよいので、提示が求められるのではないかと。</p> <p>【回答】 段階的整備においては、開業後5年後以降であっても安定した集客があり、運営・受け入れ側となる指定管理者との調整も必要。また市の財政状況などを総合的に判断する必要があるため、現時点では、次回の整備時期を示す根拠は備えていない。</p>
<p>関係職員N</p>	<p>【質問2】 「有効性」欄の「入湯者数の増大も見込める」とあるけれども、全体構想では、どの程度を見込んでいるのか。当該収入の取扱いは、どのように考えているのか（例：指定管理者の利用料金とするため、市の歳入とは関係がない、入湯税の増収分として基金に積み立てるため歳入の増加ではなく基金残高の増加となる、など）</p> <p>【回答】 入湯者を数値的には、見込めていない。 入湯税の増収分は基金に積み立てるため、基金残高の増加となる。</p>
<p>関係職員F</p>	<p>【質問3】 財源について、公共事業等債（本来分）には、交付税算入はないのかどうか。</p> <p>【回答】 公共事業等債のうち「通常事業」に該当するため、本来分に交付税算入はない。</p>

令和6年度第1回丹波篠山市財政持続的発展計画推進委員会 会議録（要旨）

<p>関係職員N</p>	<p>【質問4】 委託料の増加には、トイレ及び情報提供コーナー新設に伴う委託料の増加のみが示されているけれども、以下の項目については、変化がないのかどうか ①指定管理料の新規発生又は増加 「道の駅」オープンまでの流れの図では、指定管理者等公募・決定が令和7年度となっているけれども、今現在の施設等の管理運営は、指定管理者なのか、直営による業務委託なのかどうか。</p> <p>【回答】 ①現行の運営管理は、指定管理者による運営方法である。新たな指定管理者を公募するのかなどにおいて、現在の指定管理者と協議を進めている。</p>
<p>関係職員N</p>	<p>【意見2】 指定管理者による運営であっても、物件費の増加として検討すべき程度の額であれば、支出額の影響として計上する必要はないか。</p> <p>②芝生広場の維持管理費</p> <p>【意見3】 芝生広場が新設や芝生面積の増加であれば維持管理費の新規発生又は増加発生となるので、見込む程度の額であれば、支出額への影響として計上する必要はないか。</p> <p>【回答】 令和7年度の整備工事では既存設備の増設もなく、24時間使用可能なトイレの新設への定期的な清掃と交流広場としての芝生整備においては、将来の維持管理が容易となるように人工芝による整備を計画している。 ついては、令和9年度から計上する0.1億円内にてトイレや芝生などの維持管理費用を計上している。</p>
<p>委員長</p>	<p>指定管理者へは指定管理料を支払っているのか。</p>
<p>関係職員P</p>	<p>完全利用料金制であるため、支払っていない。</p>
<p>委員長</p>	<p>新たに芝生やトイレができれば、1,000万円維持管理費をして支払う見込か。</p>
<p>関係職員N</p>	<p>その通りである。</p>
<p>委員長</p>	<p>市のメリットは、入湯税の増加が見込めるとのことのみか。</p>

令和6年度第1回丹波篠山市財政持続的発展計画推進委員会 会議録（要旨）

関係職員P	その通りである。地域活性化が名目である。
副委員長	設備が増えることになるが、指定管理事業の範囲内ということか。
関係職員P	現在の指定管理業務の範囲内である。
委員E	現施設は木造で20年以上経過している。今後の維持管理費について、施設維持についても考慮しておくべきではないか。
委員長	今回の費用については、既存建物のメンテナンス費用は含まれていないということでしょうか。
関係職員N	その通りである。
関係職員D	入湯税について、令和5年度で約1,500万円であり、基金に積んでいる。施設の修繕は、基金を取り崩し計画的に行っており、市債の償還についても、計画的に基金を取り崩して行っていくつもりである。そのため、単年度で使い切ってしまうわけではない。
委員O	2億6,000万円のうち、国庫が1億3,000万であれば良い計画ではないかと思う。グランピングやキャンプ場整備が入った事業費4億円となると、危ういと思うが、リスクが少ないのではないか。
委員長	道の駅利用者の増加は見込めるが、増加分は指定管理業者の安定に寄与するが、市の収益に結びつかない。そのため、それを超える必要性を示さなければならないのではないかと。 位置がわかりづらく、道の駅はどこから向かうのか分かりにくい。市中心部への集客を目的としない点も踏まえると必要性として弱いと思う。
副委員長	今田という場所になったのは吟味された結果だと思っている。必要性としては説得力に欠ける。 財政面では、大きな持ち出しが少ないのはメリットであるが、運営という面で来場者に見合う体力を持った事業者ができるのか心配である。
委員G	道の駅となれば、何もせず施設が廃れていくのを防ぎ、相乗効果があると考えられる。しかし、施設運営の部分が大事。指定管理者に丸投げとなるので不透明である。
委員O	丹波篠山市に道の駅がないということが必要性だと思う。 道の駅がブームということだが、良いかどうかは別として悪いことではないと思う。

令和6年度第1回丹波篠山市財政持続的発展計画推進委員会 会議録（要旨）

委員E	道の駅は、高速道路を降りてから次の観光地に向かうまでにあるのが一番であり重要だと考える。帰宅時も寄れるところが大きなメリットである。 今田（ぬくもりの郷）の立地を考えると、作らないといけないということには疑問が生じる。 道の駅としてでなくても、情報発信などは別のアプローチ方法があるのではないか。
委員長	市民からの提案で道の駅を作ることになり、既存施設や集客性を考慮し、ぬくもりの郷を道の駅にするということになった。 道の駅が必要ないとまでは、どの委員も言っていないと思うが、必要性ということから考えると、道の駅自体要らないという意見となるがどうか？
委員I	長らくなかった道の駅ができればという、市民の思いからあがった今回の提案自体は悪いことではない。 今以上の集客が見込め、将来、周辺の整備で、より多く集客が見込める第一歩として、基金や有利な地方債が活用できる点を考えると、第3条第2号の適合性という点ではリスクがなく行えると思う。 1号の適合性について、疑問なしとはしないが、実施しても良い計画だと思う。
委員長	過去に経営が危うい時期もあったが、民間運営で工夫により利益が出るようになった。今後も今回の整備を行うことで明るい兆しが見えてくる。
関係職員B	利益が市に還元できるかどうか懸念事項だと思われる。指定管理期間中に道の駅となるので、今後、現在の指定管理者と現状の条件や今後について協議を重ねていかなければならないと考える。
委員長	（各委員の意見（要旨）を確認）
委員長	現在閉鎖している施設についてどうするのか。
関係職員N	そのままである。
委員E	現在研修室として活用している施設が観光拠点施設として使われると無くなってしまう。その点はどうか考えるか。
関係職員N	閉鎖している施設での代用を想定している。また、改修も予定していない。
委員長	（まとめに入る） 第3条2号 最新の収支見通しより大きく悪化する恐れがないことに賛同する方は挙手を願う。
全委員	（各委員 同意）
委員長	第3条1号 必要性、優先性及び有効性が極めて高い という点について、総合的に判断して、了承したと思う方は挙手を願う。

令和6年度第1回丹波篠山市財政持続的発展計画推進委員会 会議録（要旨）

全委員	（各委員 同意）
委員長	<p>附帯意見付きの賛成とする。</p> <p>情報発信・地域振興の拠点施設としての役割を最大限発揮できることに留意し、求められる役割を担うよう指導すること。整備後の運営に当たって受入体制の維持や運用等について指定相手先と協議すること。地元経済活性化等の観点からも市内事業者が参加できるよう配慮すること。以上についてを附帯意見として付けたいと考える。</p>
4その他	
関係職員D	（会議録、意見書の作成に関し、今後のスケジュールについて説明する）
委員長	閉会は副委員長に願う。
5閉会	
副委員長	（閉会のあいさつ）